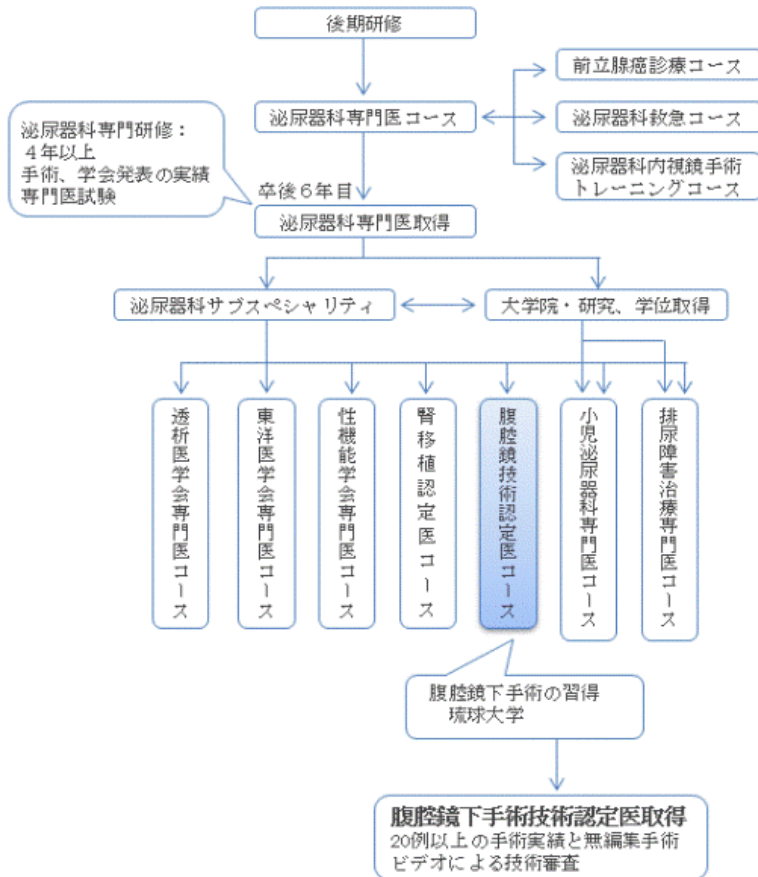


## □ 後期研修プログラムについて

### ■ 腹腔鏡下手術技術認定医コース

<コースの全体像>

各外科領域において低侵襲手術としての各種腹腔鏡下手術が開発され普及している。泌尿器科領域でも、主として副腎・腎の良性および悪性疾患を対象とする腹腔鏡下手術は標準的な治療となってきた。腹腔鏡下手術は、気腹し内視鏡下で特殊な鉗子および器具を使用して行う手術であり、従来の開腹手術に比べて難易度が高く、安全に行うためには指導医のもとで行うことが必須である。本コースでは泌尿器科領域の臓器および疾患別の腹腔鏡下手術式(体位、ポート位置、術野の展開、各種器具の適切な使用法)の取得は言うまでもなく、合併症対策、開腹手術へ移行の判断など安全に腹腔鏡下手術を行うための技術と知識を学ぶ。



<コースの概要>

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	泌尿器科腹腔鏡下手術	2名	泌尿器科腹腔鏡下手術の習得	2名	2年
				受入人数	2名	

<コースの実績>

現在、琉球大学医学部附属病院には2名の泌尿器科腹腔鏡下手術技術認定医がいる。技術認定医の取得のためには、術者として腹腔鏡下副腎摘出術および腎摘手術を制限時間以内に安全な手技で完遂(無編集手術ビデオでの審査を受ける)出来ることが条件である。新たに2名が技術認定医を目指しており、実験動物(ブタ)を用いた腹腔鏡下手術技術講習会を受講させた後、技術認定医の直接指導を受けている。

<コースの指導状況>

はじめにドライボックスによる2次元画面による鉗子操作(剥離、切開、糸結び)を練習し、標準手術ビデオでの手術手順の把握、学会の主催する実験動物(ブタ)を用いた腹腔鏡下手術技術講習会を含む各講習会に参加する。術者として腹腔鏡下副腎摘出術および腎摘手術を20例以上経験し、無編集手術ビデオによる泌尿器科腹腔鏡下手術技術認定医の試験を受ける。

<専門医の習得等>

学会等名	日本泌尿器科学会、日本Endourology & ESWL学会
資格名	泌尿器科腹腔鏡下手術技術認定医
資格要件	20例以上の腹腔鏡下副腎摘出術および腎摘手術の経験と無編集手術ビデオによる技術審査
学会の連携等の概要	

日本Endourology & ESWL学会への参加、腹腔鏡トレーニングコース、日本泌尿器科学会主催のビデオ講習会を受講する。